

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

台風15・19号被災地支援活動報告（2～4面）

- 地域紡ぐ NPO法人「アピリティ燕」活動紹介
- 新潟西高校のボランティア活動紹介
- 表紙絵筆者交代

3月号
2020
第811号



絵 高橋 郁丸「ひな祭り」(漫画家・新潟市中央区)・文 11面



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<http://www.fukushiniigata.or.jp/>

千葉・長野県内災害VC運営支援へ職員派遣



館山市災害VC

千葉県館山市災害ボランティアセンター運営支援

令和元年9月8日(日)に発生した台風15号の被害に伴い、新潟県社協は千葉県社協からの職員派遣要請に基づき、9月29日から10月

東日本を中心に甚大な被害をもたらした台風15号、台風19号。被災地では被害を受けられた方々の支援を行うため、各地で災害ボランティアセンター(以下、災害VC)が開設されました。新潟県社協及び県内市町村社協は、「関東ブロック都県・指定都市社会福祉協議会災害時相互支援協定」に基づき、千葉県と長野県内の災害VC運営支援のため職員派遣を行いました。また、隣接被災県への支援として、「災害ボランティアバス」の運行が市町村社協を中心に行われ、多くの県民がボランティア活動に参加しました。それぞれの支援活動について報告します。

多様な機関との連携の大切さ再認識

11日までの間、県内市町村社協とともに館山市災害VCの運営支援にあたりました。

被害の特徴は、強風による家屋の損壊(特に屋根や窓ガラス)が多く、災害VCに寄せられるニーズは、当面の雨水を凌ぐための屋根へのブルーシート張りが主でした。しかし、これらは高所かつ危険な作業であり、専門技術も要することから、一般のボランティアでは対応が難しく、ボランティア活動の調整に際しては大変もどかしい思いでした。

今回の運営支援では、千葉県内の多数の市町で被害が発生したこと、また、館山市社協の職員体制などから、災害VC内の各業務(受

付、オリエンテーション、マッチング、送り出し)は、関東ブロック社協の派遣職員がその中核を担い、後任への業務引継ぎを常に意識した対応が求められ、重責を感じるとともに貴重な経験を得る機会ともなりました。

長野市北部災害ボランティアセンター運営支援

長野市は、千曲川の堤防が決壊し、全壊824棟、半壊1,465棟、一部損壊1,573棟の甚大な被害を受けました。長野市北部災害VCは、千曲川の決壊地点に近い地域を支援するセンターとして設置されました。

被災地域は道幅が狭く、

関東ブロック社協の協定等に基づく新潟県社協及び県内市町村社協職員派遣状況

派遣先	派遣期間	派遣者数(実人数)	備考
館山市災害VC(千葉県)	9月26日～10月15日 (※10月12日～15日は台風のため派遣中止)	8名	新潟県社協及び市町村社協(新潟市社協除く)
富津市災害VC(千葉県)	9月26日～10月11日	6名	新潟県社協
飯山市災害VC(長野県)	10月18日～10月27日	9名	新潟県社協及び市町村社協
	10月17日～10月21日	16名	上越市、小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市社協から独自に派遣
須坂市災害VC(長野県)	10月21日～10月28日	1名	新発田市社協(新発田市が須坂市=姉妹都市=からの支援要請に基づき派遣)
長野市北部災害VC(長野県)	10月28日～12月16日	23名	新潟県社協及び市町村社協



長野市北部災害VC

大規模な駐車スペースもないため、災害VCで一旦ボランティアを受け入れ、そこからマイクロバスで各サテライトへ送迎し、サテライトで地域ニーズと活動をマッチングしていました。

被災から3カ月ほど経過した1月26日現在で、6万3千人を超えるボランティアの方々活動しました。

◆派遣職員の活動

関東ブロックの派遣職員は、5日間1クールとし、各クール6人体制で、①団体受付兼総務的業務②オリエンテーション③送り出しのセクションを担いました。関東ブロックに属する新潟県協会は、10月28日～12

月4日までの間、新潟県内市町村社協とともに延べ53人の職員が活動しました。災害VCは、毎日30人ほどのスタッフで運営し、平日1日千人弱、土日は各日2千人前後のボランティアを受け入れ、各サテライトへバス送迎を行いました。

関東ブロック社協の派遣職員は、外部支援者の中でも比較的長期滞在の派遣であることから、地元の中核スタッフで日々多忙な職員を補佐できるよう、総務的役割も求められました。

◆多様な機関との連携
派遣期間中の主なボランティア

災害ボランティアバスによる支援(郡山市、長野市)

新潟県災害ボランティア調整会議(座長・新潟県社協 関谷政友常務理事・事務局局長)では、台風19号により甚大な被害を受けた被災地支援活動の一環として、11月16日(土)に福島県郡山市へ、同月23日(土・祝)に長野県長野市へボラ

ティア活動は、個人宅の家財の運び出しや床下の泥出しが中心でした。全壊した家屋も多く、被災された方の気持ちに寄り添った支援を第一に活動が進められました。その他、専門技術の必要な床板はがし等のニーズについては、技術系ボランティアア団体と連携し、また、浸水により被害を受けたリンゴ畑を守る「農業ボランティア」の取り組みもJ A(農協)中心に行われていました。団体では、企業や社協、学校等、全国各地から申し込みを受けました。広範囲に甚大な被害を受

ンティアバスを運行しました。

郡山市は阿武隈川をはじめたとした複数の河川の決壊・越水により推定2万以上の世帯が被害を受け、長野市も千曲川の決壊・越水により1万近い世帯が被害を受け、それぞれに人的被害も発生しました。

長野市へのボランティアバスには、県内各地から34人が参加しました。当日、



長野市でのボランティア活動

けた地域を長期にわたり支援していくには、この度の長野市北部災害VCのように、県社協と地元社協が中心となり、行政、企業、NPO、学校等多様な機関が連携していくことが大切です。そのためにも、地元のさまざまな団体と関係性をつくることやスタッフの育成等、日頃からの備えの必要性を改めて認識しました。

◆復興に向けて

復旧が進む中で、被災された方から寄せられるニーズも変わってきます。災害VCでは、ボランティア活動と並行して、長野県内の

市町村社協職員を中心に、再度被災世帯への訪問を行い、復旧状況や生活での困りごと等の聞き取りを実施するなど、被災された方の思いに寄り添い、次の生活支援に向けた体制づくりが検討されていました。

こうしたなか、12月19日には長野市社協に「長野市生活支援・地域ささえあいセンター」が設置され、生活支援相談員による被災世帯への相談支援活動が行われるなど、一人ひとりに寄り添った活動が引き続き行われています。

県内市町村社協等による「ボランティアバス」の実施状況

実施回数	ボランティア活動者数	活動先
36回	721名	長野県(長野市)、栃木県(栃木市、佐野市、鹿沼市)、福島県(郡山市、いわき市、相馬市、本宮市、川俣町)

台風 19 号被害に伴う新潟県内における災害ボランティア活動状況

	10月15日			10月16日			10月17日			10月18日			合計		
	ボランティア活動者数	団体数	活動件数												
阿賀町	-	-	-	16	1	4	19	1	6	21	1	1	56	3	11
津南町	6	1	1	18	1	3	16	1	3	-	-	-	40	3	7
合計	6	1	1	34	2	7	35	2	9	21	1	1	96	6	18



津南町でのボランティア活動
(妻有新聞社提供)

台風19号がもたらした記録的大雨により、信濃川、阿賀野川流域が氾濫し、床上・床下浸水被害が県内各地で発生しました。新潟県社協は、10月13日から市町村社協に対して、被害状況や災害ボランティア活動の必要性について確認を行いました。10月15日には阿賀

新潟県内の被災地支援

日常の自治会活動が機能

早朝6時前に新潟県庁駐車場に集合し、大型バス1台で約3時間かけて長野市北部災害VCへ向かいました。現地では災害VCの指示

により参加者は複数班に分かれ、被災した家屋の泥出しや清掃活動などを行いました。参加者からは「ボランティアバスはありがたい

町社協に県社協職員の派遣を行い、災害ボランティア活動支援を行いました。

阿賀町では、被害が発生した10月13日から阿賀町と阿賀町社協が連携し、浸水被害世帯の訪問調査とニーズ把握を行い、ボランティア活動の必要性を確認しました。被害状況等から、災害VCを設置し、広くボランティアを呼びかける形を取らず、町民ボランティア

ので続けてほしい」、「とにかく人手がいる作業で、自分のできる範囲でお手伝いができ、参加してよかった」などの声をいただきました。



阿賀町でのボランティア活動

を中心とした支援活動を進めることとしました。10月16日から3日間被災された世帯の泥出しや災害ごみの撤去作業を実施し

ました。8年前の水害経験を基に、初動段階から、行政と社協の情報共有や連携が図られ、多くの町民ボランティアの協力を得て、迅速に支援活動が行われました。また津南町でも、行政と社協で情報共有を図り、被害の大きかった集落で、上郷地区振興協議会をはじめとする地域の方々が、10月

15日から3日間、被災された世帯の災害ごみの撤去や床剥ぎ、処理場への搬入等のボランティア活動を行いました。

両町とも町民を中心に、日頃の自治会活動等における地域のつながりや助け合いによる支援活動が行われ、平時から災害時にも備えた地域づくりの重要性を改めて認識しました。

被災地では今もなお復旧活動が続いています。また、被災された方は仮設住宅などに移り住むなど、支援活動も新たな段階へと移行しています。一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

今回の支援経験を踏まえ、平時から災害時にも備えた支援体制の構築を進めるため、関係団体との顔の見える関係づくりや被災者に寄り添った支援活動を行える人材育成などを一層進めていきます。

令和元年度

全社協 保育所の損害補償

スケールメリットを活かした有利な補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

● 簡単、便利なインターネットで手続きを

ふくしの保険

検索

<http://www.fukushihoken.co.jp>

基本セット補償	賠償責任	保険金額	年間保険料	
			定員数	保険料
対人賠償	1名→1億円 1事故→7億円	41~50名	22,700円	
対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1~10名増ごとに 90名まで	1,200円	
受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	91~100名	29,300円	
人格権侵害	期間中→1,000万円	101名以降 1~10名増ごとに 150名まで	1,200円	
事故対応特別費用	期間中→500万円	151名以降 1~10名増ごとに	1,420円	
被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます)	870円	
死亡保険金	121.2万円			
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%~100%			
入院保険金	1,700円*			
通院保険金	1,100円			

基本セット補償保険料計算例

100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害	870円
×100名	
×1口	87,000円
合計	116,300円

*手術保険金のお支払額は、入院中の手術の場合：入院保険金日額の10倍、外来の手術の場合：入院保険金日額の5倍となります。

天災セット補償	賠償責任	保険金額	年間保険料	
			定員数	保険料
対人賠償	1名→2億円 1事故→10億円	41~50名	28,000円	
対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1~10名増ごとに 80名まで	1,500円	
受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	81~90名	33,900円	
人格権侵害	期間中→1,000万円	91~100名	36,200円	
事故対応特別費用	期間中→500万円	101名以降 1~10名増ごとに 150名まで	1,500円	
被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	151名以降 1~10名増ごとに	1,800円	
死亡保険金	108万円	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます)	1,190円	
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%~100%			
入院保険金	1,500円*			
通院保険金	1,000円			

セットプランを
おすすめします!!



個別プラン

プラン1
保育所業務の補償

- ① 基本補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

プラン2
保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3
保育所職員の補償

- ① 保育所職員の労災上乗せ補償 **改定**
- ② 保育所職員の傷害事故補償
- ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償 **改定**

プラン4
社会福祉法人役員の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJK18-13581 2019.1.16作成)

高齢者総合相談センター・認知症コールセンター
令和2年1月までの相談まとめ

◆**高齢者総合相談センター**

平成31年4月から令和2年1月の間に、高齢者やその家族等から1,406人、延べ1,923件の相談が寄せられています。

相談者の81%が女性、19%が男性で、相談方法では電話によるものが94%と圧倒的です。

相談内容で最も多いのは家族・家庭に関するもので、全体の36%、次いで経済・生活に関するものが33%、法律に関するものが16%となっています。

◆**認知症コールセンター**

平成31年4月より新たに開設された相談窓口です。令和2年1月末時点で、254人、延べ352件の相談が寄せられています。

相談者は女性が70%、男性が30%で、半数以上が両

親（父母）に関する家族からの相談となっています。また、現時点で数多くはないものの、本人からの相談件数も徐々に増加している傾向が見られます。

ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください

(相談無料、秘密厳守)

新潟県高齢者総合相談センター

025-285-4165 (よいろうご)

新潟県認知症コールセンター

025-281-2783 (にんちしょう なやみ)

両センターの相談時間：月～金（祝日除く） 9:00～17:00

■**相談分類別（上段：相談センター件数 1,923 件／下段：コールセンター件数 352 件）**

保健・医療		生きがい		福祉サービス			経済・生活					法律					家族・家庭														
相談センター：111件 コールセンター：252件				相談センター：156件 コールセンター：69件			相談センター：632件 コールセンター：4件					相談センター：310件 コールセンター：6件					相談センター：701件 コールセンター：19件														
その他	自殺	医療関係機関	認知症	医療	精神衛生	趣味・余暇活動	その他	施設・機関・窓口	福祉用具・住宅改修	障害福祉サービス	介護認定・サービス	その他	仕事	住宅・設備	土地・不動産	税金	年金・保険・手当	生計（生活費）	その他	人権	虐待（高齢・障害）	金銭・サラ金	借地・借家	成年後見	相続・財産	家庭・離婚・扶養	その他	近所・地域	夫婦	家族	人生（单身）
58	1	13	14	14	11	13	49	58	2	3	44	470	49	12	27	4	21	49	69	5	9	56	15	28	98	30	176	55	71	350	49
12	0	5	222	0	13	2	5	9	0	0	55	3	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	2	0	1	15	1	

(単位：件)

■**相談内容の例**

高齢者総合相談センター	<ul style="list-style-type: none"> ○身体のおちこちが不調で、死にたいくらいの気持ちになる。話し相手になってくれる人がほしい。 ○一人暮らしで身寄りもない。入院・入所時の保証人の確保が心配。 ○離婚を考えているが、どうすべきか迷っている。 ○子どもが金銭的に困っており、たびたび無心されている。私も経済的に限界である。 ○隣家の騒音で安眠できない。申し出ても相手が真摯に対応してくれない。 ○不動産の相続と成年後見人の申立てについて相談したい。 ○電話会社の代理店を名乗る事業所から頻繁に電話がかかってくる困っている。 ○高齢の親がふさがちになっており心配。家族ができるサポートにも限界があるように感じている。 ○同居している親に対して感情的になってしまい、いさかいが絶えない。どうしたら良いか。 ○介護について、親族間で考えが一致せず困っている。
認知症コールセンター	<ul style="list-style-type: none"> ○独居の親に認知症とおぼしき症状が現れているが、受診を拒んでいる。 ○親が認知症と診断された。今後は同居も考えているが、何を準備しておくべきか知りたい。 ○妄想と思われる言動がたびたび見られ、対応に困っている。 ○徘徊があり夜にも出かけてしまう。これから先どのように対応していくべきか。 ○別居の両親が認知症になり、家のリフォームを契約したことを忘れてしまっている。 ○介護サービスを利用しながら相手をもどのように説得したらよいか。 ○認知症介護について、私の思いとケアマネジャーの考え方が上手くかみ合わない。 ○認知症の親が心配で介護のためにしばらく一緒に過ごしているが、愚痴を言える場所がない。 ○家族から最近様子が変わったと言われ、受診をすすめられている。不安になり相談した。 ○認知症の診断を受けたが、どのような病気なのか知りたい。



赤い羽根情報

市町村トピックス

社協マイクロバスの更新 加茂市共同募金委員会

加茂市社会福祉協議会では2台のマイクロバスを所有しており、そのうち1台の老朽化が激しく故障が多くなっていたところでしたが、この度、共同募金から200万円の助成を受けて更新しました。

このマイクロバスは、社協での色々な事業や県民福祉大会等の送迎、事務受託団体である老人クラブ連合主催の各種事業の送迎など様々な地域福祉活動で使用しており、これまで以上に活用していきたいと思えます。



購入したマイクロバス

家族会からの学び・気づき

繋がりのからの展開 フォルトネット(十日町市)

フォルトネットの主な活動は、定期開催の講話会、ピアサポーター学習会、就労体験、相談業務、ひきこ

もり当事者の居場所作り等です。

「経験者同士だからこそ共有して分かち合い、できることがあるはずである」と思いながら活動をしています。教えてくれるのは、当事者であり、家族です。

家族会と当事者が繋がり、中心市街地の袋小路に当事者の居場所「ねころんだ」を開所し、試行錯誤しながらの毎日です。第二のひきこもり場所にならないようにボランティアやランチ会、プチ仕事を組み込んでいます。

今日までの活動は、家族会からの学び・気づき・繋がりがから展開しています。自分たちが必要だと思ふことを実行し、伝え続けてきたことに対して他業種の人達が支えてくれたから、フォルトネットは続けられているのだと思えます。

今年で3年目の実施となる「にいがた・新テーマ型募金」には、たくさんの方からご寄付をいただき心より感謝しています。皆さんに支えていただきながら、これからも自分たち流でゆっくりと活動していきたいと思っています。これからもよろしくお願いたします。



ピアサポーター学習会の様子

新潟ユニゾンプラザ情報

◆主な貸室の紹介 【多目的ホール】



【座席数】 448席
固定席：336席
可動席：112席
【舞台】
間口：14.6m
奥行：8.1m
高さ：7.6m

各種の視聴覚設備を取り揃えたホールです。448席のうち、前側112席はステージの下に収納できます。また、ホールには、子ども連れの方用に「親子室」があります。また、プロジェクターが新しくなり、従来よりサイズが大きくなり、映像も鮮明に投影されるので、是非ご利用ください。



NEW!

貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。
URL：http://www.unisonplaza.jp/

【保育ルーム】



【授乳室】



施設内にてイベント開催時には、主催者が保育ルームを開設し、子どもを預ける場所として無料でご利用いただけます。館内の貸出施設と合わせてご予約ください。また、館内には「授乳室」もあります。

■引きこもり家庭に戸別訪問 全国に職員配置

厚生労働省は引きこもりの問題を戸別訪問で支援する自治体職員450人程度を全国に配置する。引きこもり状態にある本人への国の調査で、5割強は関係機関への相談意向がなかったことから同省は相談員が自ら出向く支援体制づくりに乗り出す。戸別訪問は大阪府豊中市などで引きこもりの対策として成果を上げているが福祉業務の人手不足のため、取り組める自治体が少なかった。厚労省の事業では、戸別訪問する「アウトリーチ(本人への働きかけ)支援員」の配置を希望する自治体に、人件費を助成する。

■高齢者虐待相談 最多1077件

2018年度に県内の家庭で起きた高齢者虐待に関する通報・相談件数は、前年度比182件増の1077件で過去最高となった。うち虐待と認められたのは505件で、認定率は46.9%と過去最低だった。県高齢福祉課は「虐待の早期発見への意識が高まっている」とみている。同課は「介護の疲れや苦勞が虐待につながりやすい。困った時は早く専門機関に相談してほしい」としている。

介護や虐待など、高齢者に関する悩み事の相談は、各市町村や県高齢者総合相談センター(025-285-4165)へ。

■セブン-イレブン 保存食など寄贈

セブン-イレブンジャパン(東京都)は、県と県社会福祉協議会(県社協)との三者で締結した「商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定」に基づき、阿賀町社会福祉協議会に加工食品などを贈呈した。同協定による商品寄贈は県内初で、今後是他市町村にも広げて三者で地域福祉の推進を図っていく。同協定は、同社の店舗移転などに生じる保存食や日用品などの在庫品を県社協に寄贈。県社協は市町村社協を通じて物資を福祉施設などの生活困窮者らに届ける。県はその広報活動などの役割を担う。

自動車共済福祉施設割引

このたび社会福祉施設事業者様に向けて自動車共済に「福祉施設割引」を新設いたしました。充実の補償内容と納得の掛金をご確認いただき、ぜひ自動車共済への加入をご検討ください。

社会福祉事業を運営する事業所様が所有・使用する

自動車の自動車共済掛金に **10%割引**

を適用します。

ご加入中の自動車保険の無事故等級も

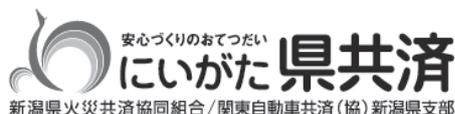
そのまま継承することができます。



経費削減の第一歩にまずはお見積りから！

☆☆福祉施設割引の適用には一定の条件があります。☆☆

※本広告は福祉施設割引の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記にお問い合わせください。



火災共済

生命共済

自動車共済

〒951-8133

新潟市中央区川岸町 1-47-1 新潟県中小企業会館内

TEL 025-267-1221 FAX 025-233-7255

URL <http://kenkyosai.jp> にいがた県共済で検索

地域紡ぐ



特定非営利活動法人 アビリティィ燕

(近藤麻理子・理事長 〓 燕市)

燕市内で、指定障害福祉サービス事業所「トム・ソーヤ」をはじめ、「アトム寮」など5つのグループホームと相談支援センター「アリス」、中途障がい者のための「トムの家」、地域の人が気軽に立ち寄れる店「喫茶つばめや」を運営しています 〓 関連記事12面「福祉の現場」 〓。

障がいというハンディがありながら、一生懸命に社会で自立し働こうという人たちを応援し、支援することを目的としています。それを職員やボランティアなど多くの温かい輪が、その「可能性」を生かそうと後押ししています。法人名は「能力はそれぞれ

違つて当たり前、前向きに笑顔

顔を絶やさず頑張つていこう」という思いから付けられました。

福祉作業所トム・ソーヤの

一日は、午前9時の体操と歌

で始まります。一般就労を

指し、必要な知識や社会性を

身に付けたり、施設内での作

業や施設外実習などを行いま

す。

また、手織りのストールな

「トムの家」では、リハビリを受けながら請負作業や授産製品などの生産に励んでいます。

喫茶つばめやでも、障がい

のある人たちが働いていま

す。ここでの接客が就労にス

ムーズにつながる実習の場と

なっています。借りた畑で自

分たちが育てたジャガイモや

サツマイモなどは、ここでの

食材として使われると言うこ

合い言葉は、遊びも仕事も頑張る

とです。

アビリティィ燕のモットーは

「遊びも仕事も頑張る」です。

平成30(2018)年度のト

ム・ソーヤの活動実績を見ると、4月の入所式といちご狩りに始まり、5月の遠足、夏の市民祭参加、花火大会見物から12月のクリスマス会、新年会、ボウリング大会、年度末お楽しみ会などと、季節ごとに楽しい行事が目白押しです。

アビリティィ燕は、昭和57(1982)年4月に、現理事長の父・長岡與四郎さんが生活支援ホームをボランティアで立ち上げたことに始まります。市内で初めてのNPO

地域の社会資源を耕し、共生社会に向かって、地域を支えるNPO法人や福祉関連団体などの活動を紹介します。

〓 随時掲載 〓

◆メモ◆
アビリティィ燕に隣接する「喫茶つばめや」は平成27(2015)年のオープン。地域との交流の場となっており、作品展の開催やトム・ソーヤで製作のストールなどを直接手に取って試すこともできる。自家焙煎のコーヒーや日替わりランチ、和スイーツが人気。営業は10時から18時(土曜日は8時30分から16時)。日曜日と月曜日は休み。
「アビリティィ燕」
◆住所 〒959-1281
燕市校町5
◆電話 0256660003

法人です。そして平成13(2001)年、長岡さんの死去により、近藤麻理子さんが2代目理事長に就任しました。近藤理事長には初めての福祉の世界だったそうですが、持ち前のバイタリティーで、障害を持たれた方々が地域の皆さんと同じ場所で生活し、支え合いながら普通に暮らしていけるよう力を注いできました。



市民祭参加へよさこい踊りの練習



楽しかった四国への旅行



喫茶つばめやとアビリティィ燕(右)



新潟西高校ボランティア部は創部15年。毎週木曜日の放課後、やりたい活動を話し合い、土日や夏休みなどに、さまざまなボランティア



新潟西高校青藍文化祭でのだんご販売

ティアに取り組んできました。

新潟市社会福祉協議会、新潟県視覚障害者福祉協会、国際ソロプチミスト新潟西など、地域の皆さんか

新潟西高等学校

ボランティア部

感謝の言葉で自信とやりがい

からも、多くのご支援をいただき、楽しく学びながら、ボランティアをしています。

☆おもな活動

【子どもたちに関わる活動】地元の西幼稚園、西内野小学校、西地区公民館の運動会やキッズランド、新潟市児童センターの万代あそびフェスティバルといった行事に参加し、小学生や幼稚園児と一緒にあそんだり、スタッフとして運営に協力したりしました。

【障害のある人や高齢者

に関する活動】盲導犬育成のためのふれあい募金に参加したり、新潟市西区にある高齢者施設・新潟あそか苑の夏祭りでかき氷売りなどのスタッフとして活動し

ました。全国障害者芸術文化祭では新潟駅でもてなしカードなどの配布もしました。

【学習・啓発活動】高文

連の講習会で視覚障害や聴覚障害、認知症について学び、なにかできることはなにかと部員で話し合いました。ソロプチミストの関係でお世話になっている田中屋さんのだんごを西高の文化祭で販売し、そのときに講習会で学んだ内容をまとめたチラシを作り一緒にお

渡しました。

ほかにも、あしなが奨学金募金や3Rアンケート調査にも参加しています。

☆今年のテーマは「積極性」

さまざまなボランティア活動に積極的に参加し、そのなかで声かけなどを自分から積極的にするように心がけてきました。

「募金やイベントなどで、

知らない人に声をかけるのは、最初は恥ずかしかったり、ちょっと不安なことでも、「ありがとう」などの感謝の言葉を言われた時に、自信がついて、楽しくなり、やりがいを感じます。「もっと人の役にたきたい」という積極的な思いも強くなりました」、「ボランティアに参加して、自分の成長を感じています。幅広い世代の人とのコミュニケーションで視野が広がり、社会に出る準備ができました」と、部員たちは活動とおして成長できた実感しているようです。

ボランティア部顧問

栗川 治

「高校生のボランティア活動を各校顧問の先生に紹介いただいた、連載「笑顔共に」は今回で終了します。ご愛読ありがとうございました」



あそか苑夏祭り

新潟の信仰

最近では全国的におひなさまを巡るイベントが開催されていますね。本来のひな祭りにはどのような意味があったのでしょうか？

今でも「流しびな」という行事が行われているところがあります。紙やワラで作った質素な男女の人形を棧俵に乗せて

以前、私が年中行事を調べた塩沢町（現

南魚沼市）では、子どもたちがおひなさまのある旦那さまの家を回ってお菓子をもらい歩いた、という話を聞きました。そのうちにどこの家でもおひなさまを飾るようになり、その風習もなくなりしました。今は住宅事情などで段飾りは姿を消していきそうです。今回は、にぎやかだったおひなさまの世界を想像して描いてみました。皆さまの厄が去って幸せな春が来ることをお祈りします。

ひな祭り 厄払いから女の子の成長祈る祭りに

流します。厄払いのために紙の人形ひとがたに息を吹きかけて神社に奉納することがあると思いますが、本来は3月3日のひな祭りにはそのような意味があったようです。

3年にわたって表紙絵を描かせていただきましたが今回が最後になります。これからも新潟各地の物語を訪ねたいと思っております。ご愛読ありがとうございます。

女の子がひいな、いわゆる人形にんぎょうで遊ぶので、ひな祭りに女の子の成長を祈る祭りという考えが強くなりました。徐々にひな人形も華美になり、流しびなでは男女の二体であったのが、三人官女や五人囃子など人数が増え、段数も増えました。当然高価になります。

文・絵 高橋 郁丸

（新潟県民俗学会理事・

新潟妖怪研究所長）



今回で本連載を終了します！！

表紙絵作家が交代します

2017（平成29）年4月から本号まで3年にわたって、新潟市中央区の漫画家・高橋郁丸さんの作品で「福祉にいがた」と「福祉にいがた オアシス21」の表紙を飾っていただきました。併せて、それらの絵に「新潟の妖怪」「新潟の民話」「新潟の信仰」の表題で、研究されている新潟の民俗学に基づいた解説文を寄稿いただきました。表紙絵も、解説文も高橋さんの人柄を映した温かく親しみのあるものばかりでした。ありがとうございます。

4月号からは、えかきの「しゅんすけ」さんの作品が表紙を飾ります。

皆さんが笑顔になる作品を

2020年度の表紙絵を担当することになりました。しゅんすけと申します。3年ほど前から本格的に絵を描き始め、街のなかに展示していただいたり、昨年

度は新潟駅前の道路アートや新潟市観光循環バスにも採用していただきました。絵を描くことで悩むこともありますが、いつも皆さんの喜んでくれる姿や表情に励まされます。そして、自分の描いた作品を見てまた笑顔になってほしい、と強く感じるので。

絵によく登場する「さる吉くん」は、自分の気持ちなどを重ねて描くことも多いです。笑っている、泣いている、時にちよつとひねられている、いろいろな「さる吉くん」を楽しみにしていただく。

読者の方に「福祉にいがた」の表紙を、毎月楽しみにしてもらえような作品を描いていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願致します。



しゅんすけ氏

福祉の現場

—福祉の現場で働く人たちに、
仕事の魅力と懸ける思いを聞きました—



特定非営利活動法人 アビリティィ 燕
理事長・管理者

近藤 麻理子さん

- ◆資格
社会福祉士、精神保健福祉士
- ◆モットー
最初からダメと言わない。何でもやってみよう
- ◆所属団体情報
アビリティィ 燕
燕市桜町5番地
☎ 0256-66-0003
e-mail / ability@ginzado.ne.jp
ホームページ /
http://ability-tsubame.com

亡くなった父親の後を継いで平成13(2001)年に理事長に就きました。「福祉の『ふ』の字も分らなかった」と言います。しかし、自身も障がいがありながら、アビリティィ 燕を立ち上げ、古いアパートを生活支援ホームとして、障がいのある人たちのことを第一に考え、自立を応援してきた父親の背中を見て育っただけに、自然に入って行けた世界だったようです。

手探り状態での運営は、福祉作業所「トム・ソーヤ」が県指定障害福祉事業所となった平成21(2009)年を契機に、「やりたいことが、いっぱいあって」とトム・ソーヤと事務所を創業地から現在地に移転し、相

明るく前向き、障がいの自立支援

談支援センターの設置や5カ所目となるグループホーム女子寮を増設、「喫茶つばめや」を開店、さらに中途障がいのための「トムの家」を設けるなど、一人一人の力を引き出し自立・就労を後押しする場を増やしてきました。トム・ソーヤの手織りのストールは品質の良さで人気です。「しっかりと作っていることを認めてほしい」と力を込めます。

必要な資格を取りながらの運営でした。「勉強は新しいものに触れられる。若い人たちと一緒に勉強は楽しい」「70歳近い利用者もいる。年を取った人の支援をどうしたら良いのか。これからは介護と障がいの問題が一緒に来る。介護支援専門員の資

格も必要となる。支援は生きがいになっていく」と注ぐ思いは尽きません。バイタリティにあふれています。地域との結び付きも大切にしています。作品展や絵本の作者を招いての読み聞かせ会から公園の草取りなどを行っています。同時に「遊びも仕事も頑張ろう」と旅行などに積極的に出かけています。障がいがあっても、いろんな所へ行って、おいしいものを食べて楽しもうという心意気です。

「前向きに笑顔を絶やさず頑張っている」と法人名に込められた思いを体現しています。



楽しいクリスマスパーティー

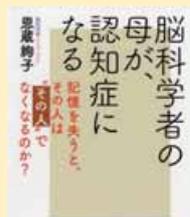
ユニゾンの図書館ニュース

「脳科学者の母が、認知症になる」

著者：恩蔵 絢子
発行：河出書房新社

「認知症の人の、その人らしさ」とは？脳科学者の恩蔵絢子さんが、認知症になった母と暮らす日々を2年半に渡り記録し、記憶を失ってもその人らしさは失われないのかを考察。脳科学者、そして認知症の人の家族という視点での発見や母との日々をつづった1冊。

問い合わせ 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎ 025-281-5514



◆ご意見・感想お寄せください
◆TEL 0950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasis@fukushihinigaata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／関谷 政友
定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和2年3月1日発行（毎月1日発行）
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷／島津印刷㈱